

荒子川公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	名古屋市みどりの協会・大島造園土木グループ		
主な業務内容	荒子川公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市港区品川町二丁目 1 - 1		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	H30年度に引き続き、職員が交代で施設安全パトロールを毎日実施している。 サポートクラブや福祉施設、保育園とともに幅広い面で協働活動を行い、地域との連携・交流を図っている。
		緊急時の体制		
		人材育成等		
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	樹木や花壇もよく手入れされており、デイキャンプ場の野外卓板42枚の取替えや塗装、八つ橋・ベンチなど施設の修繕を実施している。 その他、樹木の根上がりによる園路の盛り上がりなどを修繕し安全に配慮している。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	◎	イベントや講習会開催時の他、平常時対面式の魅力アップアンケートによる意見の収集・分析及び近隣学区の方などとの施設運営懇談会の実施により、利用者ニーズを的確に把握し改善を行っており満足度も高い。 また、園内に熱中症対策及び災害備蓄用の自動販売機を追加で5台設置しサービス向上を図っている。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接客向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み		ラベンダー見本園をリニューアルするとともに、園路に防草シートを張り直しチップを敷設することで、除草の軽減と景観の保持に努めている。また、見ごろが終わったラベンダー園を活用して、秋に満開のヒマワリを楽しめるよう魅力増進を図っている。 SNSを積極的に活用して、花の開花状況やイベント情報などを常時発信している。
		めざす公園像への取組み		
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	◎	
		イベント等の実施		
		講習会等の実施		
		利用者への広報・情報提供の実施		
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	○	本部と現場（駐車場）での金券及び現金の受け渡しについてチェック表を作成するなど、紛失防止のための工夫がみられる。
		関係書類の調製・保管		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	喫茶コーナーにおいて、ラベンダーを使ったオリジナルメニューの提供やラベンダーグッズ等を販売しており、利用者へのサービス向上となっている。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
収支	1 収支	経費節減策	○	パークブリッジや園内トイレの照明をLED化し、H30年度に引き続き省エネに努めている。
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

展示会、その他のイベントをかなりの回数開催するなど、利用促進に努めている。また、ケヤキの見本園、各種施設の修繕など施設の維持管理、植物管理を適切に行うことで公園の美しさを維持していることは評価したい。

適切なアンケートの実施等により、来園者ニーズを的確に把握し、ウォーキングコースの充実や自動販売機の設置など来園者の要望に応える改善を行っており、来園者の満足度にも表れる好循環となっていることも評価したい。

今後は、自主サークル等による屋外での軽運動などのアクティビティを誘発させるような利用増進策を講じていくことも必要であると考えます。

自主事業については、2年連続で収益還元が実現できなかったが、さらなる改善により赤字額の縮小、ひいては還元の実施まで実現できることを期待したい。

施設の現状

荒子川公園

施設の現状	施設概要							
	荒子川公園は、本格的都市緑化植物園を備えた総合公園として昭和54年度より整備を進めてきた公園です。敷地内には、荒子川右岸に街路樹・公園樹見本園(樹木園)、学校緑化・生垣見本園(野外学習園)、ラベンダー園を設け、荒子川左岸には、テニスコート、サングガーデン、多目的広場、日本庭園、わんぱく冒険広場、デイキャンプ場等が設けられています。「光と水のふれあいの森」を基本理念とし、ラベンダー園やサクラのトンネルなど、四季を感じる景観を楽しむことができます。 荒子川公園内にある荒子川公園ガーデンプラザは、市民の緑化意識の啓発を目的に平成5年4月30日に開設されました。館内は、緑に関する相談・展示・講習会・研修会場の場などの普及啓発施設として利用されています。また、平成9年3月にはティールームを併設しています。							
	市の収支状況(千円) (元年度決算見込み額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	115,094	-	115,094	488	-	114,606	115,094	—
	特記事項							
	指定管理区域を、平成22年度から荒子川公園全域に拡大							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	講習会受講者数		人	1,264	1,252	1,011	1,040	
	緑化相談者数		人	149	110	78	146	
	入館者数		人	239,667	277,470	282,573	231,512	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載